

36 トルコギキョウの促成栽培における温度管理とは種時期

福島県農業試験場いわき支場・平成12年度農業試験場試験成績概要

1 部門名 花き—トルコギキョウ—作型・栽培型 分類コード 05—19—18000000

2 担当者 矢吹隆夫・渡邊理恵子

3 要 旨

トルコギキョウの3月出荷を目標とした促成栽培において、定植後の温度管理方法の違いが生育と開花に及ぼす影響について検討した。

(1) 花芽分化時から出蕾時までの温度が18℃と15℃とを比べた場合、出蕾時の草丈は18℃が10cm以上長く、切り花長も18℃が10cm程度長くなったが、切り花時期はいずれも3月中旬であった。

(2) 8月下旬は種、10月中旬定植の切り花時期は極早生種では1月下旬～2月中旬、早生種では3月上旬となり目標とする3月出荷は可能であった。また、9月上旬は種、10月下旬定植の切り花時期は品種により4月以降となるが、切り花品質及び切り花率は8月下旬は種より優った。

以上のことから、トルコギキョウの8月下旬は種、10月中旬定植の促成栽培において定植後から最低気温を15℃に管理すれば3月に開花させることが可能であり、さらに花芽分化時～出蕾時に18℃の高温管理をすると切り花品質が向上した。また、9月上旬は種、10月下旬定植でも品種により3月に開花させることが可能で、切り花品質及び切り花率等は良好であった。